

令和 5年 7月 26日

守谷市議会議長 殿

委員長： 梅木 伸治 印

報告者： 首藤 太亮 印

## 議会運営委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	2023/7/26	
視察・研修場所	軽井沢町役場	
視察・研修項目	委員会のオンライン会議の導入について 議会報告会について	
参加者	守谷市側	梅木委員長 渡辺副委員長 首藤委員 渡辺（大士）委員 砂川委員 長谷川委員 寺田委員 高梨（恭子）委員 伯耆 田委員 高橋議長
	相手側	遠山議長 川島副議長 議会運営委員長土屋 広報広聴常 任委員長利根川 議会事務局長篠原 議会事務局児玉
視察・研修目的	進化し続ける議会を念頭に議会改革を推進していく為 オンライン会議の導入や議会報告会等の情報交換など視察 研修を行う	
視察・研修内容	・ 委員会のオンライン会議の導入について 軽井沢町議会におけるオンライン会議導入の経緯 コロナ禍において合議体である議会を「新しい生活模様」の 中どのように対応すべきか？コロナ禍の議会存続のための 手段としてオンライン議会を導入したのが経緯となる。 R211/26 コロナ禍に伴う議会運営について協議の際に委員 より総務省が委員会のオンライン開催を認めていることを 踏まえオンライン開催時における執行部の対応可否につい て質疑が出される R212/10 議会活性化特別委員会 議会基本条例、委員会条	

例、申し合わせ事項等の見直しについて委員会のオンライン開催に向けて先進議会（大阪府議会）を参考に作成した委員会条例改正案を提案

R31/20 議会運営委員会 議会活性化特別委員会からの申し入れを受け令和3年3月の本議会において委員会をオンライン開催できることを規定する委員会条例案を提案

#### 質疑・応答

寺田委員 守谷市でも最初は参加者が多かったがコロナ前、コロナ後の人数が激減し議員がまち協に出向いた経緯があった

Q 軽井沢は参加者が多いが秘訣は？

A いろんな地域で開催する、時間帯を変えるなど議会報告会に変化をつけるようにしている、これという形は今だ研究中ではありますが、一方的な報告ではなく、あくまで意見交換会というスタンスを強く持っている。

A 以前は議会報告会を行い一定の議題の説明、返答を行っていた、各開催場所で議題を変えたりしている。

Q 軽井沢町民が話題に上がるものは？

A 庁舎の建て替え、自然保護の話（ホテル・マンション建設）などの話題が主である。

Q 議会だよりの編集会議はオンライン導入しているのか？

A 以前は編集会議にてオンラインは考えていなかったがコロナ禍になり過去に数度行ったが非常に便利と感じている。

Q 定例会終了後議会だよりの発行が早いけどどのようなスケジュールで行っているのか？

A 定例会後25日に発行ということになっている、毎回締め切りになるように行っている、又一般質問開催が早く委員会前に行うためその分早出し原稿で記事を作成できている

Q 議員懇談会は年何回開催している？

A 多いときは年に3～4回、コロナになってからは不定期になってしまっている。

Q 今後もオンライン会議等は進めていくのか？

A コロナ禍で外に出れないという環境下での開催をしたが、現実問題委員長は毎度役所に来て行う必要があった。（議会事務局との打ち合わせなどのため）さらには毎度2名ほどは通信環境の影響で役所に来て行っていた、そういう背景から

	<p>軽井沢町の面積や規模を考えると今後どうしてもオンラインをする必要性を感じない、あくまで対面で人が集まらない環境課においては有効だと感じるが必要性や通信環境など考えると難しい。</p>
<p>視察・研修総括 (今後の取組み 等)</p>	<p>コロナ禍においては対面でいない環境下の中では非常に有効の話だが地域の面積などを考えるとこのオンラインが必ず必要かといえそうではない、タブレットの今後の在り方としてあるものを使うということを考えると今後の活用を今後も考える必要がある。</p>